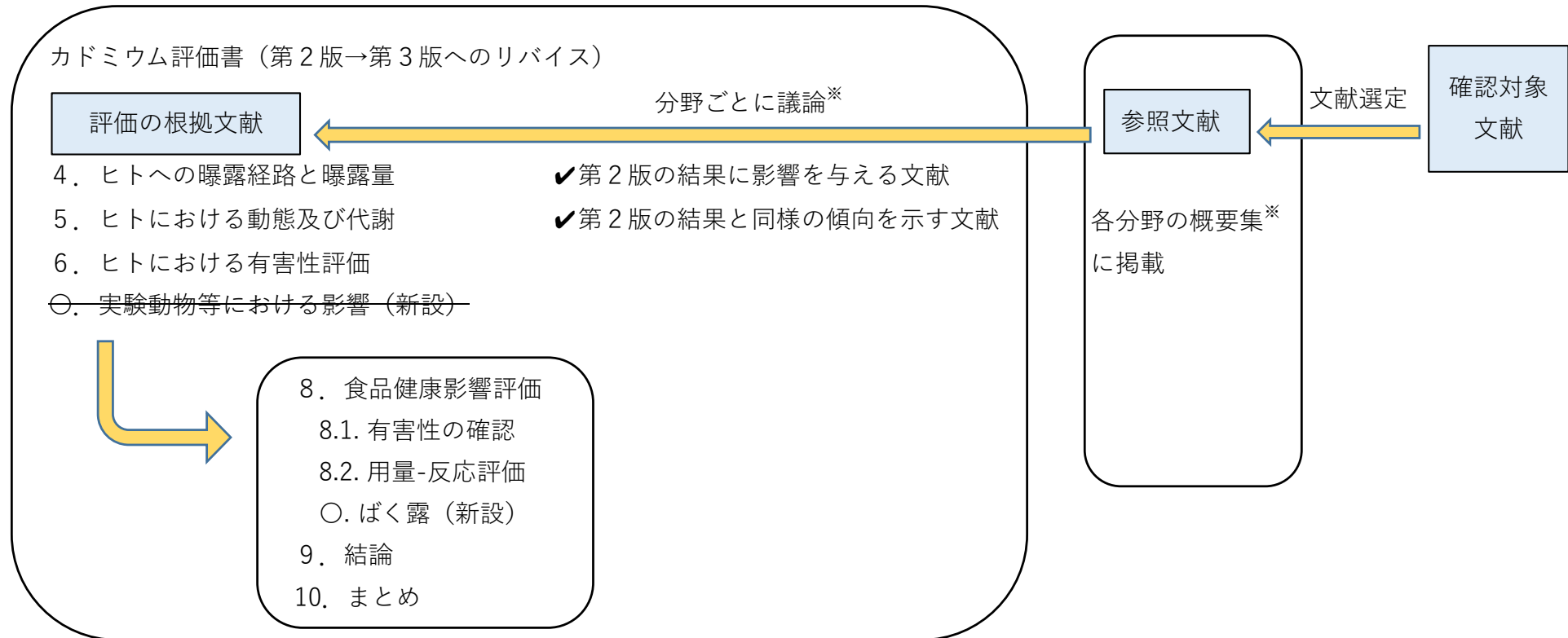


カドミウム評価書のイメージ



※上記の図は、選定文献をカドミウム評価書へ組み込むプロセスを第2版を用いてイメージとして示したものであり、第3版の構成については内容の議論と並行して議論

カドミウム評価書（第2版） 目次抜粋

<これまでの経緯>

要約

1. 物理、化学的特性
2. 採鉱、精練及び用途
3. 分布と移動
 - 3.1 自然界における存在と循環
 - 3.2 水系から土壌への堆積
 - 3.3 土壌から植物への吸収
 - 3.4 水中及び地上生物への移行
4. ヒトへのばく露経路とばく露量
 - 4.1 吸入ばく露
 - 4.2 経口ばく露
 - 4.2.1 飲料水からのばく露
 - 4.2.2 食品からのばく露
 - 4.3 ばく露量
 - 4.3.1 喫煙によるばく露量
 - 4.3.2 食品からのばく露量
5. ヒトにおける動態及び代謝
 - 5.1 腸管からの吸収
 - 5.2 輸送
 - 5.3 蓄積・分布
 - 5.4 排泄
 - 5.5 生物学的半減期
 - 5.6 生物学的ばく露指標
 - 5.7 メタロチオネイン (MT)
6. ヒトにおける有害性評価
 - 6.1 急性影響
 - 6.1.1 吸入ばく露
 - 6.1.2 経口摂取
 - 6.2 慢性影響
 - 6.2.1 腎臓への影響
 - 6.2.2 カドミウム土壌汚染地域住民における影響
 - 6.2.3 カルシウム代謝及び骨への影響
 - 6.2.4 呼吸器への影響
 - 6.2.5 高血圧及び心血管系への影響
 - 6.2.6 発がん
 - 6.2.7 生命予後
 - 6.2.8 神経・内分泌・生殖

7. これまでの国際機関等での評価

- 7.1 IARC
- 7.2 JECFA
- 7.3 WHO飲料水水質ガイドライン値
- 7.4 米国環境保護庁 (US EPA)
- 7.5 欧州食品安全機関 (EFSA)

8. 食品健康影響評価

- 8.1 有害性の確認
 - 8.1.1 腎機能への影響
 - 8.1.2 呼吸器への影響
 - 8.1.3 カルシウム代謝及び骨への影響
 - 8.1.4 発がん性
 - 8.1.5 高血圧及び心血管系への影響
 - 8.1.6 内分泌及び生殖器への影響
 - 8.1.7 神経系への影響
- 8.2 用量-反応評価
 - 8.2.1 ばく露指標
 - 8.2.1.1 生物学的ばく露指標
 - 8.2.1.2 カドミウム摂取量
 - 8.2.2 影響指標
 - 8.2.3 ばく露指標と影響指標の関連
 - 8.2.3.1 尿中カドミウム排泄量をばく露指標とした疫学調査
 - 8.2.3.2 摂取量をばく露指標とした疫学調査
 - 8.2.3.3 JECFAによる評価から推定した摂取量
 - 8.2.3.4 耐容摂取量の設定
- 8.3 ハイリスクグループ

9. 結論

10. まとめ及び今後の課題

<参考>日本人の食品からのカドミウムばく露状況

<第1版関係 別添>環境及び職業ばく露等に関する臨床及び疫学研究の知見

1. 環境ばく露による健康影響
2. 職業ばく露による健康影響
3. その他のばく露による健康影響